

越嶺会報

令和3年(2021年)6月10日

第90号

発行 越嶺会本部

〒930-8555(富山市五福3190)

富山大学経済学部内

☎(076) 445-6411(ダイヤルイン)

Fax (076) 445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ

越嶺会

検索



2021年3月23日 富山大学学位記授与式(午後 経済学部授与式)

目次

越嶺会会長就任挨拶 伍嶋二美男 2

経済学部長就任挨拶 森口 毅彦

母校だより 4

教員の異動

逝去・河野三郎先生

定年退職 酒井富夫教授、堂谷昌孝教授、
中出孝典教授

新 任 平野真由教授

シシル・シャーミン助教

転 出 岩田真一郎教授、小池未来講師

河塚 悠講師、山本雅資教授

馬 欽欽准教授

酒井富夫教授最終講義

転出にあたって

卒業 学部長式辞 森岡裕学部長

入学 地域別入学者数

経済学部資料室だより

日本現代詩歌文学館の紹介

神奈川大学から「大熊信行文庫」取材に

学生の活動

ESTUDIO復刊第13号掲載論文紹介

本部だより 12

寄付御礼

新会長に伍嶋二美男氏(学部30回)選出

新役員一覧(一部)、決算・予算

経済学部創立百周年について提案等を募集します

会員だより 14

探しています。学部四回生の文集

寄贈図書御礼・紹介 梅本清一氏(学部22回)

「コロナ禍の日常 地方の窓から見た風景」

卒業論文をお返しします

受け取られた会員からの手紙

竹田敏博さん(学部23回・昭50卒)

会員の訃報 15

富山大学基金だより

越嶺会ゴルフ大会申込書



越嶺会の新たな世紀 での飛躍を目指して

越嶺会会長 伍 嶋 二美男

この度、地元富山をはじめ国内外で活躍する多くの有為な人材を輩出し、これまで約二万五千人の同窓生を有する伝統ある越嶺会の会長職について、図らずも橋本前会長さんから引き継ぎを受けることとなりました。これまで、中

では、富山大学経済学部として経済、経営及び経営法学科の三学科を有する社会科学系の総合学部として、各学年三百名余りの定員を擁しており、日々、高い志を掲げて未来を切り拓いていく人材を育成されております。

こうした中、令和六年（二〇二四年）には創立百周年という大きな節目を迎えることから、この機会に記念式典を

が就かせていただくことは、その責任の重大さに、今なお震えが止まらないほどの感覚を感じておりますが、今後、課せられた使命を全うすべく、任に当たってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

申すまでもなく、越嶺会同窓の出身母体である経済学部は、大正十三年に創設された高岡高等商業学校を起点として、幾多の改編を経て、現在

含む各種事業を実施することにより、会員の皆さんと一体となって、本会のこれまでの歩みを振り返るとともに、越嶺会の新たな世紀における活動方針や理念などについて、メッセージを発出したいと考えております。今後、本年の十一月頃までに企画及び調整事務等を担う記念事業実行委員会（仮称）を立ち上げて、会員の皆さんのご意見を伺いながら、本会のさらなる発展

につながる取組みを検討してまいりますので、是非とも会員の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

さて、昨年から新型コロナ禍では、国の緊急事態宣言などによる感染対策の実施により、業種により影響は異なるものの日本経済は大きな打撃を受けており、特に、外食産業や旅行・運輸業等の消費につながるサービス産業の落ち込みがみられるほか、イベント等の開催見直しも随時行われており、ワクチン接種の取扱いを含めて、出口の見えない不透明な状況が続いております。

富山県内においても、観光産業をはじめとするサービス産業が大きな影響を受けておりますが、一方で、本県は日本海側屈指の工業集積を形成し、また、高度・先端技術などを有するオンリーワン企業を多く抱えており、むしろ、こうした厳しい時期だからこそ、それぞれの技術や地域資源などの強みを活かしながら、付加価値の高い産業の育成にしっかりと取り組んでいく必要

があるのではないかと考えられます。

また、インフラ等の整備状況をみると、平成二七年五月に北陸新幹線として東京・金沢間が開通し、さらに令和五年度末までには金沢・敦賀間が開業予定とされているほか、総合的拠点港である伏木富山港のターミナル機能が強化されるなど、交通インフラの飛躍的な整備が予定されており、今後、富山県をはじめ北陸地域を大きく発展させる基盤として、さらに充実することが見込まれます。

さらに、デジタル化等の進展とあいまって、テレワークをはじめとする新たな勤務形態が浸透するなど働き方改革が進んでいるほか、富山県への本社機能の移転促進、また、富山の自然や文化などの地域資源が、様々な尺度で高い評価を受けはじめているなど、地域に住んで働くといった生活スタイルが根付く、いわば地方創生につながる環境が整ってきております。

こうした地方創生への胎動を、具体的な形につなげていくためには、その中心的な役



経済学部長就任挨拶

森 口 毅 彦

越嶺会会員の皆様には、日頃から経済学部にも多大なご支援とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。さて、このたび、経済学部長を拝命し、四月から二年間の任期中で学部運営を担当させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

経済学部の執行部にも新しいメンバーが加わっています。副学部長に唐渡広志教授、評議員に小柳津英知教授、各学科長は、引き続き、金奉吉経済学科長、岩内秀徳経営学科長、香川崇経営法学科長です。これらの執行部メンバーと経済学部教職員とが一丸となり、経済学部のより一層の発展に尽力していく所存です。

まず、全学の動きに呼応した経済学部の大きな二つの取り組みをご紹介します。

一つ目として、富山大学は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」事業の協力校に選定され、令和二年度以降に入学したすべての学部学生に対して「数理・データサイエンス教育プログラム」を必修科目として提供を開始しました。

それに呼応して経済学部でも、本年四月から「データサイエンス寄附講座」による授業が学部、大学院で始まりました。これは、本学とNECとの間で、地域の課題解決や産業創出に貢献するデータサイエンス教育・研究を目的とした連携協力協定を締結したことにもとづくものです。

学部では、特殊講義「データサイエンス基礎論」、「データサイエンス実践演習Ⅰ・Ⅱ」、「データサイエンス・プレゼンテーション論」が、大学院では若干授業名が異なり

ますが、同様の授業が同時開講されます。これらの授業には、学部を問わず、二年生以上の全学生が受講できます。

特に、「データサイエンス実践演習Ⅰ・Ⅱ」は、企業から寄せられた課題に対して、提供されたデータを活用し受講生が解決を行うことを通して、データサイエンスを実践的に学ぶというこれまでにない特徴的な授業となっています。こうしたデータサイエンスへの取り組みに対応して、学部のコース制に、「社会データサイエンスコース」を設ける再編を検討しています。

もう一つの取り組みは、大学院の改組再編です。これも全学的な学際・融合型の大学院構想に呼応したもので、従来の経済学研究科は、令和四年度以降、人社会系の人社会芸術総合研究科における「共創経済プログラム」と、文理融合系の持続可能社会創成学環における「社会データサイエンスプログラム」と「グローバルSDGsプログラム」へと発展的に再編される予定（現在認可申請中）です。今日、社会が抱える問題は

割を担う人材、すなわちどのような困難や課題に対しても自ら解決策を考え、そして周囲と協調して果敢に実行に移すなど、創造性と実行力に富む人材を育成していくことが必要不可欠となっております。このため、今後、富山大学などの高等教育機関が地域の企業や行政機関と連携しながら、インターンシップを含む多様な経験等が可能となる実践的な場を提供していくことが大切ではないかと考えています。我が越嶺会が取組む方向性のひとつとしては、地域が必要としている人材、また、海外等においても活躍する人材を育成していくことを主眼として、会員・組織が一丸となつて、同窓生が学ぶ場の様々な環境整備に対する支援を行っていくことが求められているものと考えております。こうしたことを念頭に置きながら、今後、会員の皆さんの母校に対する思いを少しでも活動に反映して、本会の新たな世紀での飛躍に繋がるよう取り組みを進めてまいりますので、よろしくご協力の程お願いいたします。

ごしま・ふみお

個別専門的な知識では解決が不可能であり、学際的な観点からのアプローチが不可欠となっています。今回の大学院改革はこうした時代の要請に対応するものといえます。

これら二つの取り組みを通じて、社会が求める人材を育て、送り出すことは、地域・社会への貢献を果たすことにつながるものと考えています。

新型コロナウイルスの影響に見られるように、今日、環境の劇的な変化が常態化し、将来を予測することが非常に困難な時代になっています。

そうした中において重要になるのは、環境の変化に柔軟に対応する力、常にチャレンジ精神をもって、新しいものを生み出していく能力であり、そうしたものをもつた「人材」を育てて、地域・社会に輩出していくことが経済学部で課された大きなチャレンジではないかと思えます。そうした人材に対する社会的な要請に確実に応えていくことで、経済学部の地域における存在価値を高めていきたいと考えております。それがまた、皆様の母校を預かる者としての

責務ではないかと感じております。

越嶺会の皆様には、今後とも経済学部・経済学研究科へのお力添えを賜うことができませんよう、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、越嶺会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

もりぐち たけひこ



母校だより

教員の異動

逝去

★河野三郎先生

二〇二〇（令和二）九月三

〇日逝去された。一九八八

（昭六三）四月一日着任、

二〇一八（平三〇）三月定

年退職。三〇年在職。流通

論担当

定年退職

（二〇二一年三月三十一日）

酒井富夫教授

一九九〇（平成二）四月

一日着任、農業経済論を

担当

堂谷昌孝教授

一九九三（平成五）四月

一日着任、景気循環論担

当

中出孝典教授

二〇一〇（平成二二）十月

一日着任、経済法（独禁

法）担当

新任

（二〇二一年四月一日）



平野真由

（ひらの・まさよし）教授

所属学科：経営法学科

担当：金融取引法

最終学歴：一橋大学大学院

博士後期課程修了（博士）

前職：学習院大学兼任

講師、金融特殊法人勤務

生年：一九六七年

出身地：東京都（葛飾・柴

又の隣街、矢切の渡しに向

こう岸街）

ひとこと：日頃より本学部にご支援賜り、深くお礼申し

上げます。この度、お世話

になります平野と申します。

本学部の伝統ある名高い

（金融取引法）講座を担当

させて頂いたこととなり、

たいへん身の引き締まる思

いでおります。

ウィズ・コロナ、アフタ

ー・コロナと、社会の新しい

時代に向かつて、自身が

お役に立てるよう、大学活

動を通じ、尽力してまいり

ます。何卒、宜しくお願い

申し上げます。



SHISHIR SHARMIN

（シル・シャミン）助教

所属：極東地域研究センタ

担当：専門：地域研究

最終学歴：北海道大学大学院

環境科学院博士（環境科学）

生 年…一九九〇年四月
出 身…バングラデシユ・
ダッカ

ひとこと…私は、自然の美しい小さな理想的な村で育ちました。私は海外に出て世界を探検したいという夢を持っていました。そのチャンスが巡ってきて、日本で高等教育を受けることになりました。

そして、入学から三年後に北海道大学大学院環境科学研究科で博士号を取得しました。

その後、ポスドク研究員(博士号取得後に任期制の職に就いている研究者)として、伝統と自然の美しい土地、富山大学に移りました。人の優しさと、日本海と立山連峰の静けさに圧倒されました。

私は、二年間、研究員として働きました。ようやく夢が叶い富山大学の助教になることができました。大学、国、そして世界のより良い未来のために、知識を得て広めていきたいと思えます。

私の研究分野は地域科学です。GISやリモートセ

ンシングの手法を用いて、人間活動が引き起こす土地利用の変化や環境劣化について研究しています。

今後は、富山大学の一人として、研究や教育の分野で、大学を盛り上げていくように頑張りたいと思います。

酒井富夫教授最終講義

二〇二一年二月二七日(土)

午後一時～三時三〇分

環日本海学術ネットワーク
特定テーマ研究支援事業
シンポジウム

「SDGs X 農業…生物多様性と農法」
インターネット配信(Zoom)



転 出

(二〇二一年三月三十一日)

岩田真一郎教授(ミクロ経済学)

二〇〇一(平成十三) 四月

一日着任、都市経済学担当、

神奈川大学経済学部へ

小池未来特命講師

二〇一八(平成三〇) 一月

一日着任、国債取引法担当

関西学院大学法学部へ

河塚 悠講師

二〇一九(令和二) 四月一

日着任、流通論担当

極東地域研究センター

山本雅資教授

二〇〇八(平二〇)十月一日

着任、環境経済学を担当

東海大学経済学部へ

馬 欽欽准教授

二〇一九(令和二) 四月一

日着任、中国経済論を担当

法政大学経済学部へ

のため事前登録により実施された。

まず、和田直也・極東地域研究センター長が、このシンポジウムの意義目的を語り、さらに酒井先生は三月末をもって定年退職されるが、当研究センターの設立に尽力された創立メンバーであると紹介する開会の挨拶をした。

基調講演として、オンラインで松木洋一・日本獣医生命科学大学名誉教授が「二世紀農業の在り方を考える―自然共生農業とアニマルウェルフェア畜産―」と題して講演した。

次いで、酒井富夫教授が極

東地域研究センターから発信した。

はじめに、三月末の定年退職を前に研究の流れを振り返り、年代順に広がり深まっていったテーマや、調査に入った地域での思い出を語った。

本題として「農法論の変遷と新農業革命」と題して、SDGsと農業、農法の変遷、今後の選択すべき方向について語り、まとめとして、新農業革命は地方からと力を込め、有機農業、アグロエコロジーを軸とした新たな農業革命は富山県から起こそうではありませんか、と呼びかけられた。そのあと、小田切徳美・明

治大学教授から友人・研究仲間としての挨拶が流れ、調査でのインタビュで、泣きながら語る農家の方のその泣き声までも書き取っていたことに驚き感じ入ったとの酒井先生のエピソードが紹介された。



退職(転出)にあたって

岩田 真郎 教授

二十年ほど前、社会人大学院生として博士後期課程に在

籍し、単位取得退学後も仕事を終えてから研究論文を書き続けていました。希望する大学教員の職を得られず、諦めかけていたところを富山大学経済学部を採用いただきました。

一番の居場所となった研究室、教育・研究に専念できる贅沢な経費・設備環境、すばらしい同僚、優秀な学生に恵まれ、充実した日々を送ることができました。

先生方には、約束もせずに研究室を尋ね、教育・研究に関する悩みを解決いただきました。数式を解説いただいたり、表現方法を修正いただいたり、私のために貴重な時間を割いていただいたことを忘れません。二〇〇四年度から二〇一九年度まで続けた経済学セミナーにも参加いただき、活発な議論を交わしました。

その後の懇親会では、教育・研究を離れた日常会話に花が咲き、リフレッシュできたことをよく覚えています。

教務課や助手室の方々には、レジュメの印刷、試験の準備、学生への対応など手厚くサポートいただきました。総務課



の方々には、予算執行や書類準備が遅れがちになり、迷惑をかけっぱなしでした。教育・研究のモチベーションを高めてくれた学生に出会うこともできました。

授業では、何かの選択を決定したとき、それによって失われるものを忘れてはいけないうと必ず説明します。これを経済学では機会費用とよびます。異動の話が決定的になった後、機会費用を低く見積もりすぎたと思うようになりました。私の機会費用は右に書いたような機会を失うことに他なりません。未練がましく富山大学を退

職するとともに、覚悟をもって新しい職場で教育・研究に邁進したいと思います。今までどうもありがとうございます。皆様どうかお元気で、さようなら。

写真はアダム・スミス像の前で。二〇〇九年十一月二十八日在外研究中のスコットランドにて。

いわた・しんいちろう

退職(転出)にあたって

小池 未来 講師

二〇一八年一月に着任し早



や三年三か月となりました。仕事の環境も生活の環境も非常によく、富山大学と富山を離れることをとても寂しく思っております。楽しく研究・教育させていただいたことを心から感謝しております。

富山大学に着任して一番心に残っていることは、たくさんのお会いがあったことです。熱心に誠実に研究・教育に取り組んでおられる同僚の先生方を本当に尊敬しており、自分も頑張らなければと刺激を受けることがありました。また、学外でも、富山にいるからこそのお会いがたくさ

んありました。難しい課題に意欲的に取り組む学生たちと一緒に勉強するゼミや、受講生に教えるために幅広く緻密な勉強が必要となる講義は、自身の成長の機会となりました。

大雪で始まった富山生活は異例の大雪で幕を閉じることになりました。富山からの激励と受け取って、今後とも研究・教育に励んでまいりたいと思います。最後に、富山大学の一員として受け入れてくださり、研究・教育の場を与えてくださったことに、改めて厚く御礼申し上げます。写真は雄山山頂を写したものです。富山で一番印象に残っているレクリエーションです。

こいけ・みく

退職(転出)にあたって

山本 雅資 教授

二〇二〇年度をもって富山大学を退職することになりました。思い返すと、二〇〇八年一〇月の着任時は、世の中がまだまだリーマンショック



の影響に振り回されている時期で、バブル崩壊を講義で例に出した後に教室の学生は生まれてもいないような世代だったことにひどく焦った記憶があります。

いつの間にか自分も歳をとったんだなと当時反省をしたのですが、それから早くも十二年の月日が流れました。驚きを禁じ得ないのですが、こ

れも充実した毎日を過ごせた結果かと思っています。

極東地域研究センターの経済系教員として経済学部関係者の皆様には大変お世話になりました。どうもありがとうございました。国際化の進む社会科学研究ですが、着任当時から富山大学経済学部は隣県の諸大学を大きく上回る国際学術誌への掲載を誇っており、たくさん勉強させていただきました。心より感謝申し上げます。

写真は歓迎会でのスナップ。左端が山本。

やまもと・まさし

退職(転出)にあたって

馬 欽 准教授



一橋大学経済研究所から富山大学極東地域研究センターに転職し、あつという間の二

年がたちました。今年四月に教授として法政大学経済学部で転職する予定ですが、富山大学で研究生生活を送ったことは、とても良い思い出になりました。和田直也先生、堀江典生先生をはじめ、富山大学の皆様に心より感謝の意を申し上げます。

振り返って考えると、この二年間は、ほぼ毎日学問の道で走っていて非常に充実した日々でした。

経済学部で労働経済学の講義および大学院で中国経済論特殊研究・演習を担当させていただきました。学部生と大学院生に触れ合え、面白いディスカッションができてとても楽しかったです。

また、講師として、富山大学が企画した特別公開オンラインセミナー(計二八回)に参加し、「コロナショックと中国経済への影響を探る」について講義を行い、富山市民と交流する貴重な経験をもらえて非常に感謝します。

教育活動を行うと同時に、中国経済に関する実証研究を進めました。研究振興課の皆様にご協力・ご助言いただき、研究代表者として、

令和二―四年度科研費基盤研究B(「中国社会保障政策の経済分析―マイクロデータに基づく実証研究」)が採択され、現在この研究プロジェクトに取り組んでいます。

学術ジャーナルの投稿論文が公刊されると同時に、国際共同研究も積極的に行い、中国、韓国、日本の優秀な学者達と連携し、東アジアの高齢化と社会保障の実証研究の成果として、今年四月と七月、二冊の欧文図書

(Female Employment and Gender Gap in China Employment Retirement and Lifestyle in Aging East Asia)
+ Springer Nature Palgrave Macmillan
より公刊される予定です。

今後、マイクロデータを構築し、中国を含む東アジアの所得格差と社会保障に関する実証研究をさらに進め、富山大学SDGsプロジェクトにも貢献したいと思います。今後、皆様のご恩情とご温情を思いつつ、学問の道で邁進してまいります。

ま・きんきん

卒業

三月二三日(火)全学授与式を富山市総合体育館で十時開式で理系、十三時文系に分けて挙行し、二一八二名が卒業・修了した。

そのあと経済学部生以外が退場し十四時から同体育館内で経済学部の学位記授与式が行われた。森岡学部長が式辞を述べ卒業・修了を祝福した。学部卒業生(第六九回)は四〇二名、院修了生(第二九回)は九名。

卒業生・修了生代表として経済学科の河原彩理奈(かわはら・さりな)さんが挨拶をした。さらに、成績優秀者として研究科長表彰が、経済学研究科地域・経済政策専攻の宋亮(そう・りょう)氏に表彰状が授与された。

なお、大学の授与式において、経営法学科昼間主コース石金のどかさんと、夜間主コース中島寛子さんが学長表彰を授与された。

そのあと、各人に学位記と卒業・修了証明書等が入った封筒が担当の教員から手渡しされた。



学部長式辞

森岡 裕 学部長

皆さん、ご卒業、修了おめでとうございます。今日の日を迎えられたことを、経済学部教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。

また、これまで皆さんの学業を支えてこられたご家族の皆様にも心よりお慶び申し上げます。

皆さんが入学された時には想像もできなかったコロナウイルスの蔓延という状況の中で、大学・大学院を卒業・修了し社会人として巣立っていかれます。厳しい環境のなかで社会人としての生活をスタートされます。ですが、ここは発想の転換・プラス思考で臨まれてはいかがでしょうか。

確かに、試練や苦境を好む人はいません。しかし、人生のなかで一度もピンチや困難を経験したことがないという人は、おそらくいらつしやらないでしょう。皆さんもこれまでの日常生活や学業生活で、何度か困難や苦しい場面を経験されたと思います。そして皆さんはそういった苦難を克

服して、今日を迎えておられます。試練そのものは楽しいものではありませんが、人間を鍛えて成長させてくれるものとも言えます。その意味で、皆さんは、自分を飛躍・成長させてくれる環境のなかで、社会人としての第一歩を踏み出されるわけです。

卒業、修了される皆様について、お伝えしたことがあります。

よく耳にされるグローバル化は、これからも進んでいくということです。日本も含めて世界中が影響を受けているコロナも、ある意味グローバル化の産物です。これから社会人になれる皆さんですが、定年まで日本国内で日本の会社や日本人とだけ関わって過ごすという方はおそらくほとんどいらつしやらないと思います。留学生の方はすでに、グローバルに学業を修められています。日本人の卒業生・修了生の皆さんも、出張や駐在という形で海外勤務を経験されると想定されます。異文化交流、多様性を体験されることになります。自分が育ってきた環境や親しんできた文化・慣習や価値観とは異なった社会と出会います。多様な

価値観を尊重する、多様性を認めて柔軟に対応するということが、建前や綺麗事ではなく仕事をする上で不可欠な資質・スキルとなります。ぜひ、柔軟な心の持ち主になっていただきたいと思います。

ところで社会人として歩めるなかで、思い悩むということもあるでしょうが、そういう時は母校を思い出してください。機会があれば、母校を訪ねられてはどうでしょうか。また学生時代の友人に相談するということも大事なことです。学生時代の友人は、なんでも相談できる、もっとストリートに言うところと安心して弱音を吐くことができる相手です。学生時代の友人は皆さんにとってかけがえのない心の財産です。ぜひ母校と友人を大事にしていだきたいと思います。

皆さんの将来が実り大きなものであることを心から願いまして、経済学部、大学院経済学研究科学位記授与式の式辞とします。

令和三年三月二三日

富山大学経済学部長
大学院経済学研究科長

森岡 裕



森岡ゼミ記念撮影



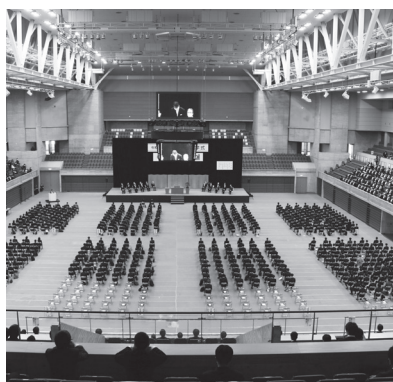
個々人への学位記交付

地域別入学者数(2021年4月1日現在)

		昼間主コース		夜間主コース		合計	
		男	女	男	女	男	女
北海道		1	1	1		2	1
東北	青森		1				1
	岩手			1		1	
	秋田	1				1	
関東	山形	1				1	
	栃木	3				3	
	群馬	2	2			2	2
	埼玉	2	2			2	2
	東京	2				2	
甲信越	神奈川	2				2	
	山梨	1				1	
	長野	21	6		1	21	7
北陸	新潟	3				3	
	富山	49	49	12	12	61	61
	石川	34	25			34	25
東海	福井	14	4			14	4
	岐阜	13	9			13	9
	静岡	3				3	
	愛知	20	8			20	8
	三重	5	2			5	2
近畿	滋賀	1	1			1	1
	京都	2	1			2	1
	大阪	1				1	
	兵庫	4	1	3		7	1
	奈良	1				1	
中国・四国	和歌山	1				1	
	鳥取	1				1	
	島根	1				1	
	岡山	1				1	
九州・沖縄	徳島	2				2	
	福岡	2				2	
	長崎	1				1	
外国の学校等 私費外国人留学生	沖縄	1				1	
		1				1	
合計		199	112	17	13	216	125
		311		30		341	

入学

入学式は四月八日(木)富山市総合体育館で、密にならないように、入学生のみで、一、二階席も使い、午前は理、医、薬、工、都市デザインの理系五学部、午後は経済、人文、人間発達科、芸術文化など文系四学部に分けて、二年ぶりに行われた。学部と大学院二三四二名が齋藤滋学長から入学を許可された。経済学部は、昼間主コース三一一名、夜間



主コース三〇名。大学院経済学研究科十三名であった。



経済学部資料室だより

岩手県北上市の「日本現代詩歌文学館」には大熊信行文庫(榊原昭夫コレクション)が収蔵されています。複写物を含めて歌誌『まるめら』全号を所蔵しています。

学芸員の濱田日向子さんが、『全国文学館協議会紀要』十三号に「大熊信行文庫と歌誌『まるめら』について 日本現代詩歌文学館」を寄稿されています。図書と雑誌が蔵書登録されていて、蔵書検索で所蔵を確認できます。

日本現代詩歌文学館は、明治以降の詩・短歌・俳句・川柳などを、全国規模で総合的に収集・保存・研究をしている日本唯一の詩歌専門の文学館です。誰でも詩歌を楽しめるように、工夫をしています。

〒024-8503

北上市本石町2-5-60

TEL

0197-65-1728

FAX

0197-64-3621



神奈川大学から「大熊信行文庫」取材に

二〇二一（令和三）年三月二二日（月）、大熊信行文庫の取材に神奈川大学宮陵会（同窓会）の宮陵会副会長・広報委員長の原柳作氏と浅田勁氏（大熊ゼミ）が来訪された。

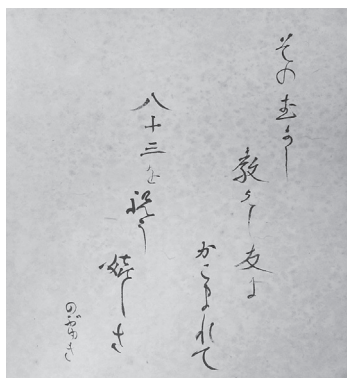
経済学部資料室や大熊ゼミOB会と、神奈川大学や大熊信行研究会の永年の交流にちなみ、「大熊信行先生がつなぐ神奈川大学と富山大学」の特集を組むためであった。



桂木先生と宮陵会のお二人

桂木健次名誉教授や資料室の担当者が「大熊信行文庫」

や、高岡高商校旗や扁額などを展示している「特別史料室」を案内、説明した。また浅田さんは、この訪問の記念にと大熊先生の色紙を寄贈された。



大熊信行先生がつなぐ神奈川大学と富山大学

神奈川大学で1952年から18年間にかけて教職をした大熊清行先生の名を冠した「大熊清行文庫」が2017年、富山大学に開設された。先生は1955年、新設後の教員を富山大学にも数人招きとるなかで同大学と先生が深くつながりあう。先生は経済分野ととまらず評論家、思想家、歌人として幅広く活躍することを知り、先生が「先生が深くつながりあう」40年余、大熊文庫を創設するにあたり、神大大蔵科と卒業生に先生への思い、山や人生の影響などについてつづってもらった。

[illegible]

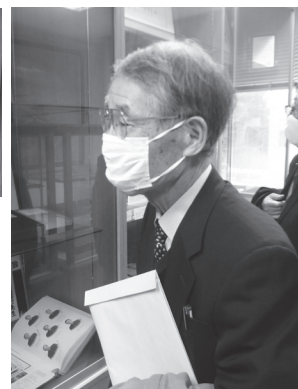
た。神原さんは大熊と出身（山形）昭和36年法経学経済学部で、出版社に勤める傍ら先生の仕事を支援した。先生に関連する著作もある。

活躍しただけに録音もいろいろ。講義などを収録した録音テープも見た。

神奈川大学関係では、「神奈川大学創立50周年記念文庫」「経済学創立50周年記念文庫」「神奈川大学設立50周年記念」(神奈川大学部設立50周年記念)「神奈川大

りげられる
の表紙

部の全景

[illegible]

左から2人目大熊先生81歳

学生の活動

経済学部学生研究論文集
ESTUDIO復刊第十三号
(二〇二二年三月刊)の
掲載論文紹介

「富山県内の買い物弱者支援
に関する考察」各小地域にお
ける買い物弱者の推計と支援
の提言」吉田基希・山口な
つみ・徳永慶一・大野志遠
(中村和之ゼミ)

「富山市環境モデル都市の進展―取り組み評価と課題―」
伊藤廉・川原大輝・武田菜央
果・藤波悠（矢島桂ゼミ）

「富山県における有機農業の
現状と課題」都築晃太・土田
拳士・伊藤楓弥・田中美穂・
土肥千詠美・天満早紀・堀田
夏那（矢島桂ゼミ）

「富山県における農業従事者の考察」酒井大生・田中元樹・陳潔・檜垣諒・蒔崎奈桜子・宮田哲也・吉田基希（プロگرام演習ⅡⅡ複数教員で指導するゼミナール）



本部だより

総会は書面審議で実施
越嶺会会長に伍嶋二美男氏

(学部三〇回)

コロナ感染は4月中旬から再び増えてきて、富山大学では四月十九日から五月十六日まで遠隔授業とし五月十七日から対面授業を再開しました。越嶺会総会は、常任幹事会による書面審議(四月二三日締切)とし、決算、役員改選、予算審議は承認されました。二〇二一、二〇二二年度の役員は別記の方々となります。

叙勲お祝い

山田光二様(二一回)は、令和三年度春の叙勲で瑞宝小綬章を受章されました。誠にめでとうございました。

寄付金御礼

左記の方々から寄付いただきました。御礼申し上げます。

学部八回

河渡太八郎様 三万円

学部二六回

故 木村 悟様 三千元

役員一覧

最高顧問	中尾 哲雄	学部 八回
顧問	森口 毅彦	経済学部長
会長(新)	伍嶋二美男	学部三〇回
副会長	堀田 正之	学部二六回
副会長(新)	宮村 樹	学部二九回
副会長(新)	桑原 幹也	学部三〇回
副会長(新)	竹野 博和	学部三二回
副会長	土屋 誠	学部三四回
副会長	山瀬 孝	学部三四回
副会長(新)	竹田 達矢	学部三八回
副会長	石川支部長	
常任幹事	蘭守 貴弘	学部二四回
常任幹事	関東越嶺会長	
常任幹事	飯塚 修	学部二五回
常任幹事	関西支部長	
常任幹事	三宅 博	学部二二回
常任幹事	東海支部長	
常任幹事	中村 昌弘	学部二二回
常任幹事	東北支部長	
常任幹事	奥 清一	学部一九回
常任幹事	福井支部長	
常任幹事	舟木 幸雄	学部二〇回
常任幹事	四津井宏至	学部一四回
常任幹事	遠藤 敏之	学部一八回
常任幹事	竹田 勝	学部一九回
常任幹事	小竹 茂樹	学部二一回
常任幹事	澤合 文雄	学部二一回
常任幹事	事務局長	
常任幹事	米原 俊孝	学部二一回
常任幹事	晒谷 和子	学部二二回
常任幹事	増岡 伸一	学部二四回

監

事

釜谷 春雄	学部二一回
小橋 啓一	学部二二回
山崎 宗良	短大二四回
浦田 竹昭	短大二六回
高田 政公	短大 三回
稲垣 喜夫	短大 二回
石塚 数之	学部六一回
園部 佑樹	学部五九回
能登 幸美	学部五五回
重原佐千子	学部五四回
沖よし子	学部四九回
手崎 裕之	学部四三回
金瀬 正志	学部四一回
赤川 浩一	学部四〇回
二口 洋	学部三八回
殿村 幸子	学部三八回
高木 雅弘	学部三八回
大波加 肇	学部三八回
杉本 正人	学部三六回
浅岡 弘彦	学部三五回
山田 勉	学部三四回
丸杉 輝	学部三四回
長津 輝彦	学部三四回
木村 温子	学部三四回
伊東 繁	学部三三回
福田 直之	学部三二回
舟崎 友晶	学部三一回
福井 直樹	学部二九回
鶴瀬 初弘	学部二九回
碓井 光一	学部二八回
吉野 哲哉	学部二七回
小林 武人	学部二七回
布目 大剛	学部二五回

特別参与(元会長)

東 宗幸 学部 二回

高田 憲一 学部一八回

寺林 敏 学部二〇回

特別参与(前会長)

(新) 橋本 洋二 学部二一回

参 与 長澤 茂 学部 四回

島倉 敏夫 学部 五回

濱谷元一郎 学部 九回

宮本 孝 学部一二回

宮森 紀好 学部一三回

久郷 隆行 学部一九回

(新) 鳥居由美子 学部二二回

(新) 松原 隆光 学部五四回

会報発行協力金をお願い

低金利のため越嶺会基金からの果実が生じない状況です。財政支援のお気持ちで、同封の振込用紙で送金いただければ有り難く存じます。勝手ながら三年分三千元以上をお送りいただけると助かります。(越嶺会負担ですが、五万円まで手数料二〇三円は同じです。ATMなら一五二円で割安です)。
なお、宛名シールの右下に例えば「感謝 協力金お振込み(令和三年まで)」と印字してある方は令和三年分までいただいていますので、振込

越嶺会 決算表(令和2年2020年4月1日～令和32021年3月31日)

1.一般会計

単位:円

収 入 の 部	決算額	支 出 の 部	決算額	備 考
前年度繰越金	502,475	富山大学修学基金へ寄付	500,000	
入会金・終身会費	5,220,000	事務費	307,480	
総会等懇親会費	0	通信費	2,798,440	会報88,89号発行
利報発行協力金	1,375,000	印刷費	1,166,605	会報88,89号発行
利息収入	110,840	手数料	135,152	郵便振替
簿代収入	5,000	旅費	0	
名寄せ	53,000	総会費	0	
越嶺会基金より	0	人件費	1,440,196	専任事務局員給与等
		会議費	5,990	正副会長会議
		会慶弔金	0	
		卒業祝賀会経費	0	R3.3.23ANAホテル予定
		学部助成金	0	
		同窓会連合会分担金	78,800	5万+R1年度新入会員数×100円
		支部助成金	0	
		支予備費	174,260	事務局PC更新
		翌年度繰越金	659,392	
合 計	7,266,315	合 計	7,266,315	

2.越嶺奨学基金会計

収 入 の 部	決算額	支 出 の 部	決算額	備 考
前年度繰越金	101,303	事業費	100,000	ゼミナール協議会へ助成
利息収入	10,000	予備費	0	
越嶺奨学基金より	0	翌年度繰越	11,303	
合 計	111,303	合 計	111,303	

3.基金

基金名	R2年3月31日	R3年3月31日
越嶺会基金	24,400,000	24,400,000
越嶺奨学基金	29,300,000	29,300,000
合 計	53,700,000	53,700,000

監査年月日

令和3年 4月 5日

監査委員

小 村 浩 一



監査委員

登 谷 春 雄



越嶺会 予算 (令和3年(2021)年4月1日～令和4(2022)年3月31日)

1.一般会計

単位:円

収 入 の 部	予算額	支 出 の 部	予算額	備 考
前年度繰越金	659,392	事務費	320,000	
入会金・終身会費	5,500,000	通信費	2,800,000	会報90,91号発行
総会等懇親会費	0	印刷費	1,250,000	会報90,91号発行
利報発行協力金	1,250,000	手数料	140,000	郵便振替
利息収入	15,000	旅費	0	
簿代収入	5,000	総会費	0	
名寄せ		人件費	1,450,000	専任事務局員給与等
越嶺会基金より		会議費	50,000	正副会長会議等
		会慶弔金	15,000	
		卒業祝賀会経費	1,300,000	R4.3.23ANAホテル予定
		学部助成金	0	
		同窓会連合会分担金	75,900	5万+R2年度新入会員数×100円
		支部助成金	0	
		支予備費	28,492	
合 計	7,429,392	合 計	7,429,392	

2.越嶺奨学基金会計

収 入 の 部	決算額	支 出 の 部	決算額	備 考
前年度繰越金	11,303	事業費	100,000	ゼミナール協議会へ助成
利息収入	10,000	予備費	21,303	
越嶺奨学基金より	100,000	翌年度繰越		
合 計	121,303	合 計	121,303	

3.基金

基金名	R3年3月31日	R3年4月1日	備 考
越嶺会基金	24,400,000	24,400,000	
越嶺奨学基金	29,300,000	29,200,000	奨学基金会計へ10万円支出
合 計	53,700,000	53,600,000	

用紙は入れておりません。
また、高商の方には入れて
おりません。永年にわたるご
支援に感謝いたします。

経済学部**創立百周年記念事業にご意見、アイデア募集**

二〇二四（令和六）年は高岡高商創立以来百年の大きな節目の年です。

コロナの状況にもよりますが、今年二〇二一年秋十一月ごろ百周年記念事業実行委員会を立ち上げたか考えています。

ついては、記念事業について、あるいは募金について、また、越嶺会の活動について、会員の皆さんから提案、ご意見をお聞きたいと考えています。メール、手紙・FAXなどで何なりとお送りいただければ有り難く存じます。

支部だより**支部総会案内**

関西 今年は取り止めます。
東海 今年は取り止めます。
石川 未定
関東 未定
福井 十月二三日(土)
東北 未定

会員ひろば**◆探しています◆**

昭和二十七年四月に入学した後、学部の皆さんによって発行された文集（十数頁程度の小冊子）を探しておられる方（四回生）がおられます。お持ちの方は事務局にお貸しく下さい。コピーを取らせてもらった後お返しします。

また、関連してのお願いですが、四回生様に限らず在学中のさまざまな印刷物（クラスやクラブでつくった自己紹介を兼ねた文集など）をお持ちの方は、事務局へお貸しください。学部の歴史の一つとしてコピーを保管させてもらいます。

◆寄贈図書紹介御礼◆

梅本清一氏(学部二三回)から
梅本清一著

コロナ禍の日常

― 地方の窓から

見えた風景 ―

A5判一六一頁

二〇二〇年十一月三十日

論創社発行 一六二〇円

北陸の小都市に暮らす練達のジャーナリストが揺るがぬ視点と類い稀な記録精神で書き続けたパンデミック日乗。人間と人間のネットワークが地域の未来を創り出す、との指摘がまぶしい。

鎌田慧（ルポライター）

**同窓会連合会の行事予定**

親睦ゴルフ大会

取りやめました。

総会

幹事会による

書面審議とします

ホームカミングデー

例年は大学祭に合わせ十月開催。

卒業論文をお返しします

返却ご希望の方は、越嶺会事務局までご連絡ください。（メール、FAX、葉書、電話など）

送料はご負担願います。受領書返送の際に切手等でお願います。

卒業論文を受け取られた方からの手紙

前略

このたびは卒業論文をご返却いただき大変ありがとうございます。

レターパックを開封して卒業論文ファイルを見た瞬間に四六年前に執筆していた頃の記憶

会員の訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

卒業回	お名前	ご命日	卒業回	お名前	ご命日
学部元教員	河野 三郎	令 2 . 9 . 30	学部11回	伊勢 遵	令 2 . 4 . 28
短大元教員	西門 正巳	令 2 . 3 . 28		盛田 雄二	令 2 . 3 . 25
高商19回	布施 正胤	令 2 . 11 . 17	学部17回	堂間 昇	令 2 . 10 . 29
	前田 定義	平 30 . 12 . 7		屋鋪 佐敏	令 1 . 8 . 9
	平松 秀樹	令 2 . 11 . 4	学部19回	剣田 至	令 3 . 2 . 9
	須田 淳一	令 1 . 7 . 7	学部26回	木村 悟	令 2 . 10 . 6
学部1回	伊藤 喜郎	平 31 . 4 . 22	学部28回	江尻 正実	平 2 . 7 .
	志甫 聰	令 2 . 8 . 30	学部33回	辻 勝彦	平 30 . 5 . 11
学部2回	平野 義孝	令 2 . 4 . 23	学部50回	徳田 康幸	平 31 . 4 . 25
学部3回	小田 隆一	令 2 . 5 . 20	学部53回	谷本 吉隆	令 30 . 8 . 27
	館野 幹夫	令 3 . 1 . 15	短大1回	清水 寿夫	平 1 . 10 . 16
学部4回	藤井 義昭	令 2 . 6 . 17	短大3回	八木 和夫	令 31 . 4 . 10
	森 幸男	令 3 . 5 . 25	短大4回	尾山 信遙	令 2 . 10 . 31
学部6回	前川 新一	令 2 . 1 . 1	短大5回	井城小三郎	令 2 . 4 . 19
学部7回	石田 保夫	令 3 . 1 . 22	短大6回	山本勇喜雄	令 3 . 2 . 26
学部8回	杉野 敏彦	令 1 . 10 . 23	短大10回	山田 敏美	昭 63 . 5 . 1
学部10回	大平 良一	令 3 . 5 . 17			

が鮮明に蘇りました。この卒論は一九七五年一月から二月に亘って執筆しましたが、当時も今の南砺市の自宅の周りには雪が降り積もっていました。机の上に参考図書や資料、そしてゼミナールで使ったノート等を所狭しと広げて悪戦苦闘のした日々がつい昨日のようです。「アメリカ金融資本の成立過程」と言う大それたテーマでしたが、必死になつてまとめようとした当時のエネルギーは我ながらちよつと誇れる部分があります。今になつて思うことは「やはり若さと言うエネルギーは凄いな」と言うことです。

二〇〇三年十一月に金融機関を離れて紙専門商社に転籍し、その後二〇一五年四月から紙専門物流会社の経営を任されておりますが、現在は新型コロナウイルス禍で悪戦苦闘の毎日です。大学卒業から四六年を経ましたが、それと引き換えに数多くの経験と多くの人との繋がりを得て現在の生活が成り立っております。出会った多くの方々に感謝しております。

学生時代の四年間は青春の思い出として一括できますが、とりわけ武ゼミナールにあつては「自らの頭で考える」ことを徹底して教えられたと思ひます。本当に貴重な体験だったと思ひます。また、今も色褪せない真理であると思ひます。

最後に、郵送料として切手三七〇円を同封しましたので、ご査収願ひます。また、過日、越嶺会へ寄付金一万円を振り込みました。卒業以来払い込みをした記憶がないので、私の罪滅ぼしの意味合いもあります。

新型コロナウイルス禍にあつて何か

と大変な時期ですが、富山大学や越嶺会関係者の皆様の益々のご清祥をお祈り申し上げます。
草々

二〇二一年一月二六日
演習指導教官 武 暢夫教授
四六二〇九五 竹田敏博

原稿募集

短信もお寄せください。
また、会合はこの時節
できないかと思いますが、
その思い出、あるいは計
画（コロナが収まったら
…）などお書きください。
越嶺会報の発行は、例
年は五月十日、十二月一
日です。
三月十五日、十月十五
日までに到着すればそれ
ぞれの号に掲載できます。
事前にご連絡あれば空け
てお待ちしております。
内容は、越嶺会員の同
期会やゼミOB会、ある
いは地域での会合や活躍
の様子をお知らせくださ
い。

消息不明の方々です

事務局で自宅住所がわからず、会報をお届けしていない方々です。
何か手がかりでも結構ですので、ご存じの方はお知らせください。（事務局）

博和則苗幸樹子子貴希子子誠子哉徳輔子晃章貴栄也輔紀昭希昭子江亘寿明剛彦子淳之子彦代樹
康浩孝早宏直祐優正勇梨美^{都恵} 寛雄智大陽文博友久裕大裕俊亜康潤明 徳千 善寿^佐 智曉信委正
石木澤川倉庇藤藤富野野桑田原丸原藤西藤井井藤野保野谷本中西岡川瀬岡澤 田多谷井原茂内
青青鮎荒石板伊伊稲上上大大荻角川工小齋酒酒佐佐新杉関竹寺寺豊中成福藤坊細本増松松丸宮

学部49回

文季み桂一史美子彦 子隆宏子子弘子介一誠司子美彦樹善平大穂代哉代拓五介介人広毅美晶治超
敏優^ゆま 太佳明厚 知和智友直多智洋健 純陽^紀由万佑知陽 瑞朋和晶 謙亮祐盛通弘恵裕亮喬

田上江 田田澤林本 木野野田田田田田石崎部藤沢井沢藤藤保藤谷伯木藤野 河道山原木口末中
宮村本森安安吉若脇 青浅浅芦池岩上上大岡勝加柄北北土工久後紺佐佐佐佐篠下下下菅高田武田

学部50回

明里行司平之彦洋子典稔郎子子苗宏文史幸郎義子太尚志子紀加人子哲 亨子法史子諮仁司永音子

芳絵伸浩順靖春 美智^一英 慎真綾早朋芳敦 健永香陽宏尚亜峰理洋涼和 左由崇聡尚一将成琴美^和
渚野肥山川野村村山目川 田田持田江郷川浦野屋島藤下本本脇野村 回川灰丸 野本賀塚本野野
田團土遠中中中中中夏長林伴平福福富堀本松三水三宮武山山山山山吉吉 石石石石泉上植大大岡奥亀

学部51回

世文子信也篤拓行太介太人み郎花子乃子子史慎代子亮宏子靖子子介崇幸恵久子子武次智子陽子起
美寿真正祐 真恵浩亮直め良春祐喜玲悦剛 佳真直和聡峰貢聡悠匡俊理典享知^恵 隆文春成由一^紀

女田谷原林藤本野田田川木田田松川口口田久井尾谷本山谷崎野野口藤澤田川 田尾浦野本岡 欽
元久京郷小近笹島須角瀬高高高瀧谷津津永中中西西額野萩坂樋兵深藤細堀榊松三水宮村森八

理剛子将美介紀子弥絵 行織司子敦人奈二美一誠典格子喜樹一樹介輝吾郎子明み世貴之幸美子美

玄 晶 江良夕園裕光 宏香純弥尚将佳淳奈健 正 業久充憲英景有圭健諒康^太和晴裕良良千和^津

野岸口口中根本幕崎邊 部井井木井倉藤葉谷橋原野口島井藤子子部根田田井向藤路木戸戸嶋山沢
安山山山山山山横吉渡 阿荒荒荒石板伊稲榎大小岡小尾梶加金金河岸黒細坂酒佐小鈴瀬大高高滝

学部52回



富山大学基金だより

第 17 号
2021.4.1 発行

富山大学基金を活用した、コロナ禍での学生支援事業とお礼

コロナ禍による困窮学生支援に対し、富山大学基金への多大なご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

修学支援基金を活用し本学独自の給付型支援制度を4月に立ち上げ、今年度1,397名に5万円(合計6,985万円)を緊急時奨学一時金として支給いたしました。また J-Coin 基金(公益財団法人パブリックリソース財団)と富山大学基金を活用し、10月以降210名に1万円(合計210万円)の生協書籍、生協売店、食堂で利用できる、生協電子マネーの支援を行いました。

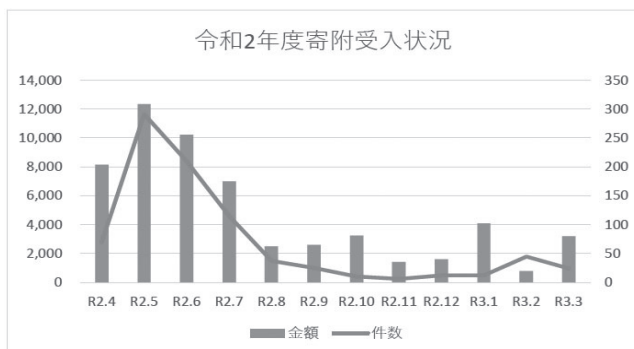
新型コロナウイルス感染症が収束しない現在ではありますが、本学では令和3年度も困窮学生に対する支援を継続するとともに、皆様から引き続き継続的な寄附のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

学生からのお礼メッセージ(経済学部2年) ●

今回、新型コロナウイルス感染症による、富山大学独自の緊急的経済支援事業で経済的支援を頂きありがとうございました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で日本のみならず世界全体で深刻な経済的影響を及ぼし、今までの日常生活が大きく変化しました。私は現在一人暮らしで、母子家庭ということもあり実家からの仕送りも少ない中、アルバイトも一時的に中断されました。今後の展望が見えず、生活に不安を抱えていた中、富山大学独自の経済支援により経済的、精神的にもとても救われました。現在では徐々に以前の日常生活が戻りつつあり、今後の学校生活に希望が持てました。多くの方の支援のおかげで学生生活を送れているという意識を持ち、感謝の気持ちをもって勉学に努めようと思います。

令和2年度 富山大学基金の寄附受入状況 (令和3年3月末現在)

富山大学基金の寄附受入状況：令和2年度			
基金名	期間	寄附件数	寄付金額
富山大学基金(一般)	R2.4.1~R3.3.31	121	18,525,815
修学支援基金	R2.4.1~R3.3.31	732	37,498,000
研究等支援基金	R2.4.1~R3.3.31	3	1,080,000
合計		856	57,103,815



コロナ禍で経済的困窮した学生を支援しようと、一般、同窓会連合会、名誉教授及び教職員へ寄附依頼を行い、多数のご寄附が寄せられました。しかし、第1波を過ぎた8月以降、月150万円~400万円に減少しております。

令和3年2月より順次、医療従事者、高齢者、一般国民へとワクチン接種が開始され、諸外国との移動も緩和されることと思います。

富山大学では、日本人学生の留学派遣、留学生の受入れが可能となった場合は、学生海外留学支援事業、国際交流支援事業、学習環境整備事業も再開したいと計画しております。改めて、富山大学基金へのご協力をお願い申し上げます。

令和3年4月より 富山大学リサイクル募金を開始

富山大学では、リサイクル募金さしゃぽんと提携し、令和3年4月より皆様から読み終えた本・DVD・ブランド品等を提供いただき、その査定金額を富山大学基金への学生支援や教育研究支援事業寄附金として受入る事業を開始します。

<http://kishapon.com/u-toyama>

富山大学リサイクル募金



富山大学研究等支援基金の新規設立

富山大学では、学生及び不安定な雇用状態にある研究者への研究等の支援に対し、「富山大学研究等支援基金」を新たに令和2年9月に設立し、令和3年1月に文部科学大臣より承認されました。

【目的】

○学生又は不安定な雇用状態にある研究者が、自立した研究者として行う研究活動に要する費用を負担する事業

○学生又は不安定な雇用状態にある研究者が、論文の刊行に要する費用、学会等への参加に要する旅費その他の費用で研究活動の成果を発表するために必要なものを負担する事業 等

※ 研究等支援基金は、修学支援基金と同様に個人の方は所得税法上の優遇措置があり、税額控除または所得控除のどちらが有利な方式を確定申告時に選択することができます。詳しくは基金事務へお問い合わせください。

令和2年度 第2回 富山大学基金事業 奨学生帰国報告会 (R3.1.27) を実施

理工学教育部 環境応用化学専攻修士2年 板谷克則

留学機関：イギリス カーディフ大学 留学期間：令和元年9月～令和2年2月



この度は、富山大学基金事業学生海外留学支援プログラムの奨学生としてご支援いただき、誠にありがとうございました。私は最先端の研究施設の下、世界レベルの研究ができ、世界中から集まる様々な学生とクリエイティブかつ革新的なアイデアを生みだしている環境とともに学ぶことで、今までにはない角度から、物事を見て、一人の研究者として活躍するためにイギリスのカーディフ大学へ6ヶ月間留学しました。留学先では、多種多様な専門知識や異なる価値観をもつ海外の学生が、国境を越えて自身の研究や専門分野を追究していました。私の所属していた研究室では、論文を掲載するために日々研究に取り組んでいる人達や研究留学生在籍しており、共に実験をする中で、今まで携わったことのない実験手法や研究分野に数多く触れることが出来ました。留学当初は知り合いもなく不安なこともありましたが、研究室の同僚たちが助けてくれました。

また、自然に恵まれたカーディフでは、毎週末ハイキングサークルの仲間と山へ出かけ、現地の学生や様々な国籍の留学生とハイキングを通してお互いの理解を深めました。現地のコミュニティーに参加することは価値観だけでなくその土地の環境を感じることができます。私がこれらの交流から得たものは多く、充実した留学生活を送ることが出来ました。ハイキングは帰国した現在も私の趣味として続け、富山大学で所属しているサークルにも積極的に関わっています。この6ヶ月間の研究留学は私の人生でかけがえのない経験になりました。さらに、私のこれからの目標や進路を定めるための原動力となりました。この留学で得たものを今後の人生に活かしていきたいと思います。今は、コロナ禍のため海外に行くことは難しいですが、広い視野を持つことができる海外留学は、学生の今だからこそできる素晴らしいことです。チャンスがあればぜひ取り組んでみてほしいと思います。



富山大学基金のパフレットが新しく変わりました。

問合せ先：富山大学総務部総務課広報・基金室（基金担当）

〒930-8555 富山市五福 3190

Tel. 076-445-6178 Fax. 076-445-6014

E-mail: kikin@adm.u-toyama.ac.jp

URL: <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp/>



2021年6月吉日

越嶺会会員各位

富 山 大 学 越 嶺 会
越 嶺 会 グ リ ー ン 会

第31回越嶺会グリーン会ゴルフコンペのご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、越嶺会グリーン会が主催するゴルフコンペを下記のとおり開催いたします。

現状はコロナ禍ではございますが、今後、快方に向かうことを願いつつ、越嶺会会員の皆さまにご参加いただき、同窓の絆を深める事ができればと考えております。何かとご多用のこととは存じますが、同窓会員の方々をお誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催中止とさせていただく場合もございますので、何卒ご了承願います。 敬具

記

開 催 日 時 2021年 8 月 21 日 (土) 7 時 35 分 スタート
 開 催 場 所 太閤山カントリークラブ (コース：楠⇒蘭、蘭⇒茜)
 〒939-0323 富山県射水市平野 1 番地 T E L : 0766-56-1200
 参 加 費 プレー代 15,850円 (税込／キャディ・乗用カート付き)
 会 費 3,000円
 競 技 方 法 18ホール・ストロークプレー H'cpは新ペリア方式を採用し、36で打切ります。
 表 彰 順位賞、B B 賞、ベストグロス賞、その他各賞
 ※競技終了後、表彰式・懇親会は行なわず、解散となります。
 参 加 申 込 参加ご希望の場合には、7月17日(土)までに、下記の参加申込書を F A X または
 ご投函、あるいはメールにてお願い申し上げます。
 お申込み先 越嶺会事務局 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学経済学部内
 T E L : 076-445-6411 F A X : 076-445-6419
 電子メール：etsurei@eco.u-toyama.ac.jp
 お問合せ先 幹事 金瀬 正志 (学部41回)
 勤務先：日本海ガス(株) 〒930-8588 富山市城北町 2 番 36 号
 T E L : 076-433-1212／携帯番号：090-8965-1810
 電子メール：kanase@ngas.co.jp

参 加 申 込 書

宛 先：越嶺会事務局 / F A X : 076-445-6419

第31回越嶺会ゴルフコンペに参加いたします。

A：高岡高商 B：富大経済 C：経営短大

フリガナ			生年月日	昭和・平成	年	月	日生
氏 名			回 生		参考H'cp		
住 所	〒 -						
連絡先Tel	- -		電子メール				
同伴希望者名①		住所				回 生	
同伴希望者名②		住所				回 生	
同伴希望者名③		住所				回 生	

住所等変更通知のお願い

(FAX : 076-445-6419)

住所や姓名等に変更のあった方は、FAX でお知らせ下さい。(メール・葉書も可です)

		卒回	回	年	月卒
お名前		(旧姓)			
新住所 〒□□□-□□□□					
新電話 ()-()-() 新FAX ()-()-()					
差しつかえなければメールアドレス					
勤務先					
住所 〒□□□-□□□□					
電話 ()-()-() FAX ()-()-()					

越 嶺 会

〒930-8555 富山市五福3190 富山大学経済学部内

TEL (076) 445-6411 (ダイヤルイン)

FAX (076) 445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ : <http://www3.u-toyama.ac.jp/etsurei>

e-mail etsurei@eco.u-toyama.ac.jp